

多様な性のあり方について考えてみませんか

性のあり方は多様です。性のあり方は、次の3つの要素で表現することができます。

性的指向 どのような性別の人を好きになるか？

性自認 自分の性別をどう認識しているか？

からだの性別



性は、からだの性別だけじゃないんだ…。自分はどうか？

3つの要素の組み合わせで、さまざまなセクシュアリティ(性のあり方)があります。

※性表現(言葉づかいやしぐさ・服装など、外見に表れる性)も含め、4つの要素でとらえる場合もあります。

L Lesbian レズビアン
女性として女性を好きな人

G Gay ゲイ
男性として男性を好きな人

B Bisexual バイセクシュアル
異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある人

T Transgender トランスジェンダー
生まれたときに割り当てられた性別と性自認が異なる人

Q Questioning クエストショニング
または **Queer クイア**
性的指向や性自認がはっきりしない人、決めたくなかったり、わからなかったり、悩んだりしている人

Cisgender シスジェンダー
性別に違和感のない人

Heterosexual ヘテロセクシュアル
異性を好きになる人

「性別はこうあるべき」といった固定観念には、それに当てはまらない人々への偏見や嫌がらせ、差別を生む危険性があります。性的マイノリティの人たちは、周囲から見えにくい場合が多く、誰かの何気ない一言で心の傷を大きくしたり、生きづらさを感じたりします。LGBTQはアイデンティティ(自己同一性)に関わるものであり、当事者の自己肯定感や自尊感情につながる大切なものです。性のあり方は多様であり、それを尊重することは誰もが生き生きと活躍できる社会の実現につながります。



「性のあり方はグラデーション(多様)」といわれます。顔が違うように、性も「一つの個性」です。一人一人の違いを認め合い、豊かさとして共生できる社会を築いていきましょう。



その人の性のあり方を本人の同意なしに誰かに暴露してしまう「アウティング」は、時に命の危険につながる行為です。本人の「許可なく」「第三者に」口走ることがないように気をつけましょう。

第44回人権講演会 2023.8.18 小山市立文化センターにて開催

ダブルハピネス ~辛さが2倍なら楽しさも2倍~ 講師 杉山文野さん (トランスジェンダー)



誰の課題なのか、もって生まれた違いに課題があるのか、それとも違いを受け入れられない社会の方に課題があるのか…。

ウェルカミングアウト。「カミングアウト、ウェルカムですよ」という意味です。LGBTQについて一言でも肯定的に周囲に発信してもらえれば、まだカミングアウトできていない人にとって安心感につながっていきます。

多様化する社会ではなく、既に多様な社会です。自分の知らないものや違う考え方に出会ったときこそ、柔軟に対応する適応能力や包容力が求められる時代と言えます。(略)

誰にだって一つぐらいい人と言えないマイノリティ性があるのでは。一人として同じ人がいない中で、みんな何かしらのマイノリティ性をもってマジョリティというグループをつくっています。マイノリティにとって優しい社会は、きっとマジョリティにとっても優しい社会につながっていくはずですよ。

性的少数者のことを理解し、支援したいという考えをもつ人のことをアライ(ALLY)といいます。当事者に共感し、寄り添いたいと思う人たちが増えるほど、ウェルカミングアウトの雰囲気も広がりますね。



LGBT理解増進法(2023.6.23施行)

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に寛容な社会の実現に資することを目的に、公布施行されました。基本理念として、すべての国民がその性的指向またはジェンダーアイデンティティにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されることを掲げ、性的指向やジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別はあってはならないとしています。

小山市パートナーシップ宣誓制度(2023.4.1~)

小山市に住んでいる性的マイノリティ(少数者)の方で、パートナーと共同生活を送りながらも、その関係性を証明する手段がなく、生活上の困難さや生きづらさを抱える方に対し、市が精神的な支援を行うものです。詳しくは市ホームページ(右のQRコード)にてご確認ください。なお、栃木県でも2022年9月より導入しています。



【参考資料】『りんごは赤じゃない〜正しいプライドの育て方〜』(山本美芽著 新潮社) 「多様な性への理解と対応ハンドブック」(長崎県人権・同和対策課) 「LGBTQなどの性的マイノリティを取り巻く問題。私たちにできること」(日本財団ホームページ <https://www.nippon-foundation.or.jp>)

誰もが自分らしく生きられる社会へ

